

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			限られたスペースの中で、活動に合わせた場所の使い方等を職員間で話し合い、必要なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			定められている人員配置基準を満たしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			スロープや手すり等の設備が整っています。また、各ご利用者に合わせたクッションやチェアなどを用いて対応しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			ご利用者受け入れ前の打ち合わせや、送迎後のミーティング、部署会議などで日々の業務の振り返りをおこなっています。参加できなかった職員に対しては申し送り用紙を活用し共有できるようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケートを元に職員で話し合いをおこない、今後の改善への検討をしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		法人規程に準じ第三者委員を置き、苦情等を客観的に評価し、業務改善を行う体制を整えています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に法人内研修や勉強会を実施し、外部研修にも積極的に参加できるよう努めています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ご家族面談実施や関係機関との情報共有をはかりアセスメントをおこなっています。個別支援計画作成の際は作成会議を開いています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			MEPA-R、MEPA-IIを利用し、各ご利用者の発達状況を把握し、個別支援に繋げています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定例のミーティングを開き、各ご利用者に合わせた活動内容を検討し計画を立てています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			ご利用者一人ひとりの個性、能力に合わせた活動を企画し、主体的に楽しめるようにしています。また、様々な経験ができるように、年間・月間活動プログラムを立て画的におこなっています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日はご利用者の一人ひとりの個性や能力に合わせた個別的な活動を主に実施しています。休日、長期休暇中は集団で楽しめるイベントを企画し、交流する機会や家庭ではあまり体験できないような活動を設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			一人ひとりの好きなことや得意なことを活かせる個別活動や、小集団ならではの関わりができる集団活動を組み合わせ、計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前のミーティングで、当日の活動内容・支援の視点・分担などを職員間で確認をおこなっています。

適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後、振り返りのミーティングでご利用者の体調や活動での様子、ご家族や学校からの情報を共有し、次の支援につなげています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		ご利用者別の記録表へ当日の支援内容や様子等を記録し、支援方法について職員間で振り返り、検証・改善をおこなっています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		日々の振り返りに加え、半年ごとのモニタリングを通じて、各ご利用者の発達状況や家庭状況などを勘案し、見直しが必要か適宜判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		基本活動のA～Eまでを踏まえた上で活動を計画し、支援しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加するほか、ご利用者の状況により看護師や保育士や児童指導員も参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		担任教諭や、連携部との情報交換を学校迎え時や電話でおこなっています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		主治医との連絡体制を整え受け入れをしています。また、法人内の医師と連携し、緊急対応等をおこなっています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談支援事業所や養護学校を通じて情報共有及び連携を図っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		各相談支援事業所を通じ情報提供をしており、ケース会議等には積極的に参加しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		支援方法に関する情報交換や見学を適時おこなっている。また、研修等にも参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		法人主催のお祭り等への参加を通じ交流できる機会を設定しています。ご家族から感染症を危惧する意見もある為、感染症対策を徹底した上、交流する機会を設けていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		小田原、足柄下郡の地域自立支援協議会子ども部会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況をご家族と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		ご利用中の様子について、送迎時やご家族面談で直接報告しております。また、連絡ノートでもご利用中の様子を出来るだけ詳細にお伝えできるように心がけています。
29	ご家族の対応力の向上を図る観点から、ご家族に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		ご家族からの介護や育児の相談に対し、ご家族でもできる方法などの助言をおこなっています。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に支援内容や利用者負担などについて説明し、ご理解いただけるように心がけています。不明な点についてはその都度対応しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			半年に1回、個別支援計画の面談を実施させていただいています。それ以外でも、随時相談をお受けしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			家族会を開催させていただいています。また、法人主催のお祭りでは保護者が集まってゆっくり話ができるようなスペースを用意し、保護同士の情報交換や親睦が深まる場になるように支援しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				ご家族からいただいたご意見を真摯に受け止め、迅速に対応できるよう心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				広報誌や月間の活動カレンダーなどで、活動や行事予定についてお伝えしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○				個人情報の取り扱いについて細心の注意を払い、ご利用者に関する記録などを管理しています。また、個人の写真を使用する際は家族に確認しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				文字盤やカードなどの視覚支援ツールやマカトン法などを活用し、ご利用者の意思に沿った支援に取り組んでいます。また、ご家族との情報伝達については送迎時や連絡ノート、電話などでおこなっています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				法人の秋祭り開催時は、自治会を通じてチラシを配布し招待をしています。また、地域で活動している個人・団体のボランティアの方などに運営の協力をしていただいています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			職員間での周知・徹底は出来ているが、ご家族に対しての周知は出来ていない部分があります。想定される事項についてご家族にお伝えできるよう努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				災害等発生時に安全かつ迅速な避難が出来るよう、避難訓練や消火訓練をおこなっています。また、ご家族対象の訓練も実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				法人内で虐待防止や権利擁護についての研修を定期的実施し、全職員が参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				切迫性・非代替性・一時性を照らして組織的に検討し、必要最低限にとどめられるよう努めています。また、個別支援計画書に明記し、ご家族面談時に説明の上、同意をいただいています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				アレルギー品目を確認(医療機関の検査結果等)した上で、施設医師、栄養士に報告し対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				法人内のリスク委員会でヒヤリハットの集計をおこない、それを職員間で共有しています。